

平成26年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	秘境秋山郷素朴な観光おもてなし事業
事業主体 (連絡先)	信越秋山郷会 栄村役場商工観光課 0269-87-3333
事業区分	(1) 地域協働の推進に関する事業
事業タイプ	ソフト事業
総事業費	2,744,248円 (うち支援金: 2,018,000円)

事業内容

1. 秋山郷総合ガイドブックの作成
 - ・ガイドブック 30,000部作成。各宿泊施設や観光イベント等で配布。
2. 食のコンテスト及び名物料理講習会
 - ・信州サーモン料理開発研究開催 参加者 17名
 - ・料理コンテストの開催 応募者 44名
3. 栃の実キーホルダー作成
 - ・各宿泊関係者を対象に講習会開催
各2会場で実施 参加者 20名

(活動写)



【名物料理コンテスト】

【目標・ねらい】

信越秋山郷の住民が一体となった観光振興の実践。地域資源を活かした秋山郷の魅力を発信する。

事業効果

※地域活性化のための目標・ねらいに対してどのような効果があったか、項目毎に記載すること。

1. 共通ガイドブックを通じ歴史や文化を通じた観光PRに対する住民意識の向上と、誘客繋げる一助になった。
2. 食のコンテストや名物料理講習会を通じて、新たな料理の開発と、食を通じた秋山郷をPRできた。
3. 秋山郷に来た記念になり、地元資源を活用した秋山郷らしい記念品が完成し、観光PRに繋がった。

※自己評価【B】

【理由】
各事業の実施により観光誘客のきっかけとなった。

今後の取り組み

※今後、事業効果をどうつなげていくか記載すること。

今回の事業をより発展的に進めて行きたいため、インバウンド観光への対応として外国人向けのガイドブックの作成、食のコンテンツとを通じて、商品化や料理提供できる施設を増やし、地域一体で進める事により、低迷する観光誘客に繋げて行きたい。

※ 自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。

「A」: 予定を上回る効果が得られた 「B」: 予定していた効果が得られた

「C」: 一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある